（別紙２）

２．助成対象事業の遂行状況

【事業名】滋賀型・NT企業創出支援事業　Ａ事業 ②

【目的〈課題認識、方向性、目標、事業実施計画等〉】
・本事業実施により、付加価値向上の必要性は認識しているが実施できずにいる企業に対し、地域の事業者に影響力を及ぼす「地域の中核企業」へと成長する道筋を明らかにすることで、新たなサービスやビジネスモデルの創出を促進し、魅力ある産業・質の高い雇用の創出を図ることを目的とする
・滋賀型・NT（ﾆｯﾁﾄｯﾌﾟ）企業創出支援事業”とは≒滋賀県の特徴を活かし、NT および地域の中核となり、地元経済を牽引する企業を創出（0→1）することを目指します！
・支援先5先以上に対し、支援計画書（5ヶ年）を策定し、個社別の支援を実施することで立案した初年度計画の目標達成ならびに支援企業からの満足度80%以上を達成する。
・事業内容については「別紙　事業計画書　参照」

【遂行状況〈実施事業の内容・進捗状況、実施した結果生まれた新たな課題等〉】
〈実施事業の内容・進捗状況〉
下記日程で採択先個別支援、異業種含めた連携研究会、公開セミナーを実施した。

2022年2月24日：令和4年度募集開始（プラザＨＰにて告知）
〃　3月24日：令和4年度選定委員会開催・5社を支援対象先として採択
（以上2件：前年度報告書より再掲）
〃　4月11日：採択先（5社）へ今後の予定等事業説明会を実施・個別支援開始
〃　4月14日：第1回滋賀県モノづくりキックオフセミナーin草津開催【第1部】
第1回企業連携研究会in草津開催【第2部】
〃　7月 7日：第2回企業連携研究会in草津開催
〃　8月-9月：8/3.5, 9/2の3日程で支援先に対し個別勉強会を実施
〃　11月4日：第3回企業連携研究会in草津開催
2023年2月 6日：第2回滋賀県モノづくりキックオフセミナーin草津開催【第1部】
第4回企業連携研究会in草津開催【第2部】
〃　2月13日：令和5年度募集開始（プラザＨＰにて告知・申込期限3月3日）
〃　3月22日：令和5年度選定委員会開催・6社を支援対象先として採択
〃　4月 7日：採択先（6社）へ今後の予定等事業説明会を実施・個別支援開始
〃　4月10日：第1回滋賀県モノづくりキックオフセミナーin草津開催【第1部】
第1回企業連携研究会in草津開催【第2部】
4月20日：4/20,5/11.5/18の3日程で支援先に対し個別勉強会を実施
〃　7月13日：第2回企業連携研究会in草津開催
〃　7月19日：7/19.26, 8/2.8/9の4日程で支援先に対し個別勉強会を実施
〃　10月19日：第3回企業連携研究会in草津開催
〃　10月26日：10/26,11/2.11/9.11/16の4日程で支援先に対し個別勉強会を実施
〃　1月18日：第2回滋賀県モノづくりキックオフセミナーin大津開催【第1部】
第4回企業連携研究会in大津開催【第2部】

〈実施した結果生まれた新たな課題等〉
NT（ﾆｯﾁﾄｯﾌﾟ）企業は提案型企業を目指すための、企業体質への変革までには至らなかった。新規事業・新商品に特化したため、既存事業の深化ができなかったと反省する。また個別支援での単年度の成果を求めるには無理がある。中期ビジョン設定にあたっては「ヒアリング+意識改革」でほぼ１年費やした企業が最短であった。白紙から成長の道筋をつけるには最低２年かかる。企業変革には全社員の意識改革の定着（企業風土の構築）が今後の新たな課題と認識した。

。

【評価〈目標の達成度〉、数値の検証等】
企業目標：事業計画（５ヶ年）と初年度目標を作成　⇒初年度実績を８項目で達成度を確認
事業目標：評価基準書の達成 4/6社（67%）を設定　⇒初年度実績4/6社（67%）
　　　　　顧客満足度の目標設定(80%)　　　　　　⇒初年度実績100%
検証結果は「別紙　最終報告会　参照」

【今後の進め方〈波及効果を含めて〉をどうするのか】
波及効果を最大化するために、対象を製造業から全業種に拡大し、さらに新規企業だけでなくNT卒業企業にも参加いただき相乗効果を発揮できる事業を目指す。
「企業変革」を目指す新規企業の伴走支援と「地域の中核企業」を目指す卒業企業への支援を行うと共に、新規・卒業企業との連携体で「継続的な成長」を目指す仕組みを仕掛けたい。
①　企業変革は「既存事業の深化、新規事業の探索」を意識した個別テーマに挑戦する。
②　新規・卒業企業との連携体で共通テーマを「学ぶ/教える」で相互成長を促す。
③　「両利きの経営」ができる企業風土への定着で「地域の中核企業」への成長を促す。